

賛成 流政会

課題として捉えた事業3点について、指摘・要望します。

【景観と環境美化】まちが目に覚えて美しくなることは、市民の心の在り方にも好影響を与え、「きれいだからごみを捨てない」という行動の好循環を生みます。引き続き啓発活動を推進し、必要に応じてたばこのポイ捨てなどへの罰則強化も視野に、目に見える成果の追求を要望します。

【みどりと自然】街路樹や公園管理の維持管理費を増え、中長期の財政を見通し、維持コスト

【ブランディング】「流山おたかの森駅前センター地区道路」の1工区の工事完了については、①短期・長期の課題②主目的と副次的効果③事業目的を確認しました。流山おたかの森でのブランディング効果を市内全域へ波及させるため、市内各地で実施されている賑わい創出の市民イベントへの支援を要望します。

賛成 公明党

賛成の主な理由として、

①燃油価格の高騰により経営が圧迫されていた市内運送事業者に対し、運送事業者継続支援金を交付したこと。②能登半島地震の教訓を踏まえた自然災害への備えとして、防災備蓄品の見直しを実施したこと。③希望する全ての障害児などが円滑に保育施設などに入所できるように、要配慮児童保育コンシェルジュを配置したこと。④流山ぐりーんバスの高齢者割引制度の継続をしたことや、マタニティタクシー利用助成制度の利用を促進した

ことなどが挙げられます。なお、審査を踏まえ、次の3点を要望します。①救急救命士確保事業については、市民の生命を守ることや救急救命士の負担軽減の観点から、さらなる人員確保を図ること。②要配慮者の個別避難計画の着実な推進とともに、高齢者のみの世帯の社会的孤立を防ぐため、重層的支援体制の強化を図ること。③不登校児童・生徒への支援については、さらなる受け入れ体制と多様な学びの場を提供すること。以上を強く要望して賛成とします。

賛成 流山みらい

令和6年度一般会計歳入歳出決算認定について総額863億6437万4千円を審査しました。

地域住民念願の初石駅施設整備事業や江戸川台駅東口周辺地区再整備事業を進めてきたことは評価します。しかし、流山おたかの森センター地区道路（こもれびストリート）1工区が一方通行の道路へと変更されました。

総括質疑では、歩行者や近隣の意見は聴くが、利用するドライバーの意見は聴かず、全てが完成した後で意見聴くという

ことでしたが、完成後に反対意見が多かった場合の対応はどうするのですか。また税金をかけ交互通行に戻すのですか。その責任は誰が取るのですか。自治基本条例にもあるように、市民生活に影響を来す事業については、より多くの市民の声を聴く必要があるのではないですか。また、なぜ2工区の工事開始前に市民の意見を聴こうとしないのですか。工事前にアンケートを取り市民の意見をしっかりと聴き、市民にとって公平で公正な行政運営を目指すよう、強く強く指摘します。

賛成 自由民主党

令和6年度一般会計決算額は、新設小学校建設事業などの大型事業が終了しているとはいえ、歳入で約895億1千万円、歳出で約863億4千万円という、大きな規模の決算となりました。歳入の柱である市税の収入で360億円、うち固定資産税で140億円を初めて超えました。本市の価値を高める政策を推進した結果であると評価します。大規模開発も終わりました。人口増加も緩やかに、市税収入の伸びが期待できなくなる中、市債の長期金利が上昇傾向にある

ことから、財政調整積立金残高の積み増しなど将来に渡って安定した財政運営のため積立金と市債のバランスを検討するよう指摘します。民間でできることは民間で、業務委託・指定管理者制度を活用した市民サービスの提供は評価します。一方、その委託費の増加は避けられないことから、市民サービスを低下させないよう配慮しつつ適正な委託費となる工夫をするよう指摘します。今後もより良い市政の継続に向け職員一丸となり尽力されることを願います。

賛成 森田 洋一

市民アンバサダーの醸成とリピーター確保により、住み続ける価値のあるまちづくり推進が重点課題です。外国人観光客誘致と滞在型観光の推進は、伸び代が期待でき


ます。効果的な一手を打つのが難しい場合、トライアンドエラーも大切です。

路線バス増便、二次交通検討、イベントを観光に結び付けることも重要な施策です。先行き暗い前兆の日本で、たゆたえども沈まずの先導力で、本市が一筋の光明を見出し、次の予算につなげることを期待します。

会派に属さない議員

ご自身のスマートフォンやパソコンから
本会議・委員会中継がご覧いただけます

流山市議会では、本会議中継と、YouTubeを活用した委員会中継を行っています。(ともにライブ配信・オンデマンド(録画))
どうぞご利用ください。



「議会中継」ページへ移行します

市政に関する 一般質問

令和7年第3回定例会の一般質問には、20人の議員が登壇し、市政に関するさまざまな議論が展開されました。各議員が行った質問のうち、1問についての質問・答弁を通告順に掲載しています。なお、「問」部分については、各議員の草稿によるものです。

子どもの権利保障のための職員研修について
矢口 輝美



問 ①全ての市職員を対象にこどもの権利の理解を醸成する方策について問う。②こどもの声を聴く力や、意見を尊重するスキルを育む実践的研修の導入について問う。

答 子ども家庭部長 ①「流山市こども計画」の基本目標6、こどもの権利を守る仕組みづくりとして「流山市子ども子育て会議」の部会として、こどもの権利部会を設置しました。今年度、こどもの権利部会の活動の一つとして、こどもの権利の中でも重視されている

国・県からの照会業務などの急増について
流政会 近藤 みほ



問 本市において、日常的に多くのメールや文書により、国や県からの照会・調査や事務連絡を受け取っていると、その量は増加傾向にあるのか。そうした事務の負担増の実態と改善策について問う。

答 総合政策部長 国や県から市に届くメールは増加しており、月平均で令和5年度が3342件、令和6年度が4345件、令和7年度が8月末現在で6431件と、令和7年度8月末の時点で令和5年度比の約2倍となっ

議員が草稿を作成した記事において、特定の名詞の表記（「障害者」を「障がい者」と表記するなど）については、議員本人の意向を尊重して掲載しています。そのため、異なる表記が混在する場合があります。予めご了承ください。